

今後の進め方

1. 全体の進め方（別添1）

- 「1. 設計条件及び評価判断基準」に当たる再処理施設及び廃棄物管理施設の入力地震動の策定を優先して説明。
- 上記と並行して、「2. 具体的な設備等の設計」（「2-1：システム設計、構造設計等」、「2-2：解析・評価等」）として整理すべき事項等の整理、具体的な構造設計等の説明を実施。MOX 燃料加工施設を例として、構造設計等として説明すべき内容等の説明方針、設備の構造等の類似性を踏まえた類型化及び代表による構造設計の説明等の整理を進め、再処理施設及び廃棄物管理施設へも展開。
- 「1. 設計条件及び評価判断基準」の入力地震動の策定に係る結果を踏まえ、設計用地震力（FRS等）、耐震計算等を行い、それらを「2-2：解析・評価等」の方針を踏まえた計算結果等の説明に当たる「3-2：評価判断基準等との照合」で引き渡し、説明を実施。（ここに至るまでの説明事項は、上記項目で対応）
- 共通12による「2. 具体的な設備等の設計」の整理結果を申請書の構成等を踏まえた00資料に反映し、申請書全体としての構成等の確認を行う。その後申請書への反映を実施。

2. 今後の審査会合での説明方針

- 1. を踏まえ至近での審査会合での説明の進め方としては、以下のとおり考えている。
 - 次回審査会合
 - ・1. 設計条件及び評価判断基準：
 - 「データの取得及び信頼性の確認」「データの整理（12Grでの整理）」「データの再整理（近接するGrのデータ類似性に基づく整理）」について、2/5 会合踏まえたコメント回答と見直し内容
 - 「敷地地盤の特徴をとらえた地下構造」の設定結果
 - 「設計に用いる地盤モデル（基本地盤モデル）の作成方針及び作成結果」
 - ・2. 具体的な設備等の設計（2-2：解析・評価等）：「MOX 説明グループ1（評価）」の説明
 - 次々回審査会合
 - ・1. 設計条件及び評価判断基準：「基本地盤モデルによる入力地震動の算定結果（一部）」
「基本地盤モデルの設計への適用方法（考えかた）」の説明
 - ・2. 具体的な設備等の設計（2-1：システム設計、構造設計等）：「再処理、廃棄物管理の説明グループ1（構造）」、「2-2：解析・評価等）：「MOX 説明グループ1（評価）」の説明
 - その後（準備整い次第）の審査会合
 - ・「基本地盤モデルによる入力地震動の算定結果」「基本地盤モデルの設計への適用方法の検討状況」の説明
 - ・「再処理、廃棄物管理の説明グループ1（構造）」、「再処理、廃棄物管理の説明グループ2（構造）」、「MOX 説明グループ2（構造）」等に係る構造設計等の説明を順次実施

3. 各活動の実施状況及び当面の進め方

3. 1 具体的な設備等の設計（共通12）に係る進め方

- 「2. 今後の審査会合での説明方針」を達成するため、これまで「具体的な設備等の設計（共通12）」を作成する前準備として複数のタスクを進めてきたが、一定の整理が出来てきたことから再処理、廃棄物管理の説明グループ1に係る共通12の作成のフェーズに移行する。至近の対応が必要な事項の対応は以下のとおり。

- なお、説明グループ2以降の説明グループの設定に係る説明すべき項目の整理や説明グループ2に係る「設計項目」の整理等は継続して実施していく。
- 各説明グループに関連する条文等の説明対象に対する責任体制（グループ取り纏め、条文等の説明対応者）を明確にし、ヒアリングでの説明を行う等、ヒアリング体制の見直しを実施。

● 「2. 具体的な設備等の設計（2-1：システム設計、構造設計等）」

◆ 再処理、廃棄物管理 説明グループ1（構造）に係る構造設計等の説明

- ✓ DB/SA の設計項目の整理については、1/29, 2/2, 2/9 ヒアを踏まえた整理を進めており、現状の整理状況として 2/15 提出、2/16 ヒアで説明する。当該整理を他の基本設計方針項目にも展開し、順次作業を実施し、共通 12 の作成に繋げる。
- ✓ 代表選定の考え方の説明にあたっては、説明すべき項目に基づく代表設備の抽出の考え方を整理し、2/15 提出、2/16 ヒアで説明する。（別添 2 参照）
- ✓ 共通 12 資料 3 については、昨年 12 月並びに 2/9 ヒアでのコメントを踏まえた適正化方針について 2/19 提出、2/20 ヒアで説明し方向性の認識を合わせた上で他設備に対しても展開する。
- ✓ 上記のヒアリング状況を踏まえ、説明グループ 1 に係る構造設計等を 3 月中旬に提出し、次々回審査会合に向けて代表設備に基づく構造設計等の説明を開始する。

◆ 再処理、廃棄物管理 説明グループ2（構造）に係る構造設計等の説明

- ✓ これまでのヒアリングで論点となっている個別項目について、具体の設計方針とその考え方を整理し、3/7 資料提出、3/14 ヒアで説明を行う。
- ✓ 本説明にあたっては、説明する個別項目を共通 12 資料 2 で示す設計項目に紐付け、共通 12 の資料 3 及び資料 4 で説明する内容を明確化して、共通 12 の作成に繋げる。
- ✓ 共通 12 の再処理説明グループ 2 の DB/SA の要求事項の紐付けは、再処理説明グループ 1 の整理を踏まえ、溢水/化学薬品(12条、13条)と36条の整理を先行させ、3/7 資料提出、3/14 ヒアで説明を行う。
- ✓ 代表選定の考え方(説明パターン毎の代表設定)、DB/SA の設計項目の整理等を踏まえ、説明グループ 2 に係る構造設計等を 3 月末目標で提出し、4 月よりヒアリングを開始する。

● 「2. 具体的な設備等の設計（2-2：解析・評価等）」

◆ MOX 説明グループ1（評価）に関連する共通 1 2 資料 4 の説明

- ✓ 構造設計等を踏まえた解析・評価等に関する整理方針等を踏まえた MOX 説明グループ 1 に関連する解析・評価等の説明を行う。1/18、19、24 ヒアを踏まえて評価パターン（1）、（2）と評価パターン（3）を分けて資料提出、ヒアを設定することを計画。評価パターン（3）についてはグローブボックスに係る耐震設計に関するパートを優先して説明する。
 - ◇ 評価パターン（1）、（2）関係：2/15 提出、2/21 ヒア
 - ◇ 評価パターン（3）（グローブボックスに係るパート）2/19 提出 2/20 ヒア、2/21 提出、2/22 ヒア、共通 1 2 2/28 提出 3/7 ヒア、3/12 提出 3/15 ヒア
 - ◇ 評価パターン（3）については、グローブボックスに係るパートから説明を行うこととし、次回審査会合に向けて、グローブボックスの設計コンセプト、耐震設計及び評価において着目すべき部位及びそれを踏まえた許容限界の関係、閉じ込め機能の確保に係る設計等の根拠として用いている加振試験の目的、加振試験の結果等が実機への適用性の考え方等の評価の前提となる事項の説明を行う。次々回審査会合に向けてグローブボックスの解析条件、グローブボックスに接続される配管の影響等に係る事項の説明を行う。また、グローブボックス以外の項

目については、上記と合わせて次々回審査会合に向けて説明を行う。

- ✓ 上記において、再処理の「評価」に係る項目の抽出等を合わせて示す。

3. 2 耐震関係（入力地震動の策定）の進め方

- 「2. 今後の審査会合での説明方針」を達成するため、以下の項目についての検討を進める。
 - ① 「データの取得及び信頼性の確認」「データの整理（12Grでの整理）」「データの再整理（近接するGrのデータ類似性に基づく整理）」
 - ② 「敷地地盤の特徴をとらえた地下構造」
 - ③ 設計に用いる地盤モデル（基本地盤モデル）の作成方針及び結果
 - ④ 基本地盤モデルによる入力地震動の算定結果
 - ⑤ 基本地盤モデルの設計への適用の考え方

<資料提出・ヒアリング>

- 次回会合資料
 - ① について 2/5 会合踏まえたコメント回答と見直し内容 + ②・③検討結果
 - ◆ 2/16 資料提出 2/16 ヒア（AA 周辺・F 施設周辺・GA・AG グループ分）
 - ◆ 2/21 資料提出 2/22 ヒア（全 Gr 分）
 - ◆ 2/26 資料提出 2/27 ヒア（2/21 ヒアコメントの反映）
- 耐震建物 08
 - ① について 2/5 会合踏まえたコメント回答と見直し内容 + ②・③検討結果（会合資料と同内容⇒2/22 資料提出）

以上

1. 設計条件及び評価判断基準

2. 具体的な設備等の設計

3. 具体的な設備等の設計と評価判断基準との照合

【2-1：システム設計、構造設計等】

【3-1：設計要求等との照合】

- 共通12の目的、共通12における具体的な設備等の設計に係る全体像等
- MOX説明グループ¹を例とした共通12各資料での記載事項の整理
- 設計説明分類・説明グループの設定、要求事項を踏まえた構造設計等と解析・評価等での説明事項の仕分け、DB/SAの共通事項の整理等（溢水、竜巻等）

共通12（資料1～3）、個別補足説明資料

00資料への反映（別紙1、別紙4、別紙5等）

【2-2：解析・評価等】

【3-2：評価判断基準等との照合】

申請書不備に係る原因、対策

申請書への反映

(2-2) 共通12（資料4）、計算（評価）方針等
(3-2) 計算書（評価書）、個別補足説明資料

00資料への反映（別紙1、別紙4、別紙5等）

※計算結果を反映

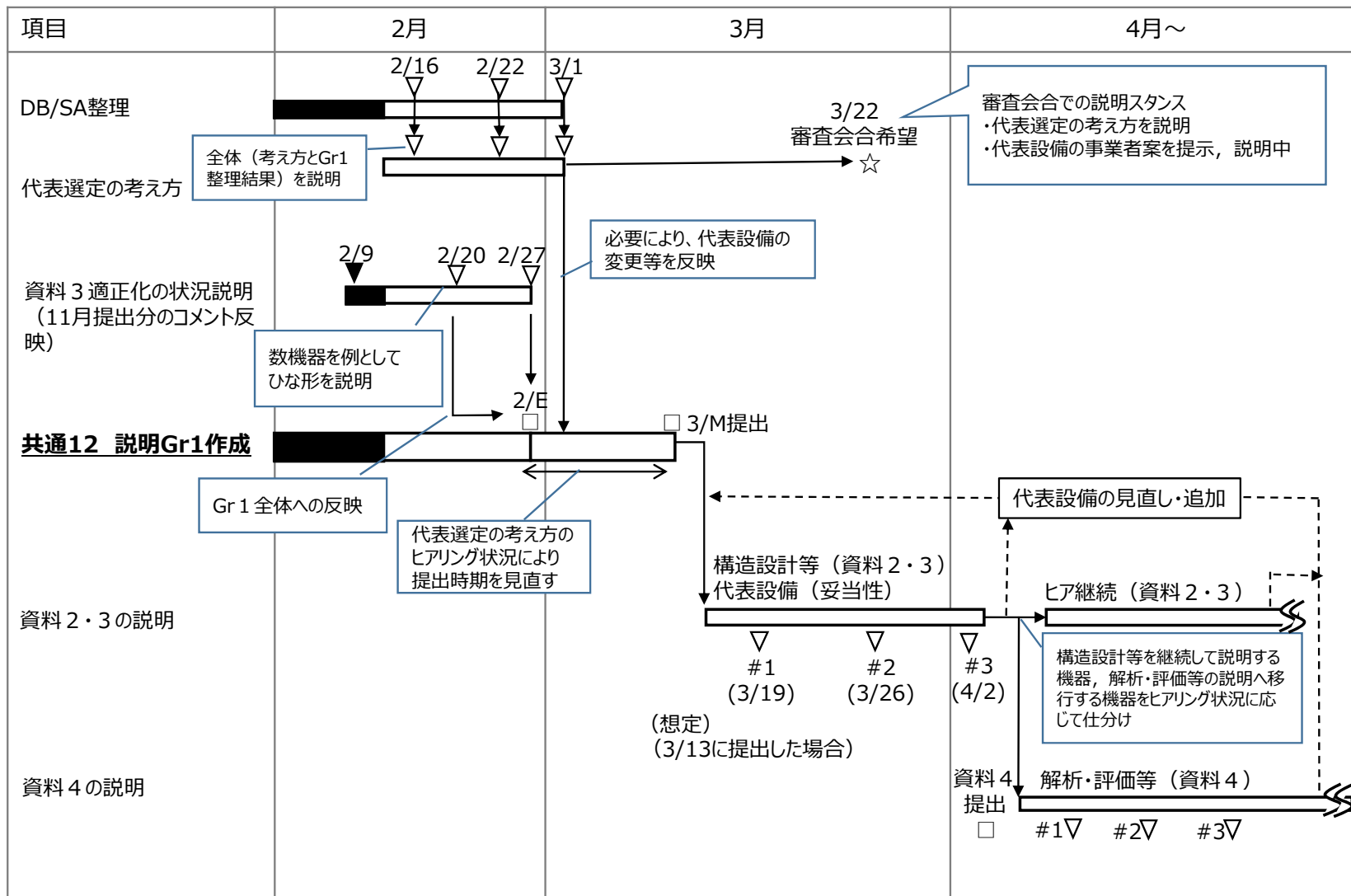
入力地震動の策定

- 敷地の特徴をとらえた地下構造の検討
- 基本地盤モデルの設定
- 入力地震動の策定

設計用地震力（FRS等）、耐震計算

- 入力地震動の設定結果を踏まえた設計用地震力（FRS等）の評価
- 設計用地震力に基づく建屋、機器等の耐震計算等の実施

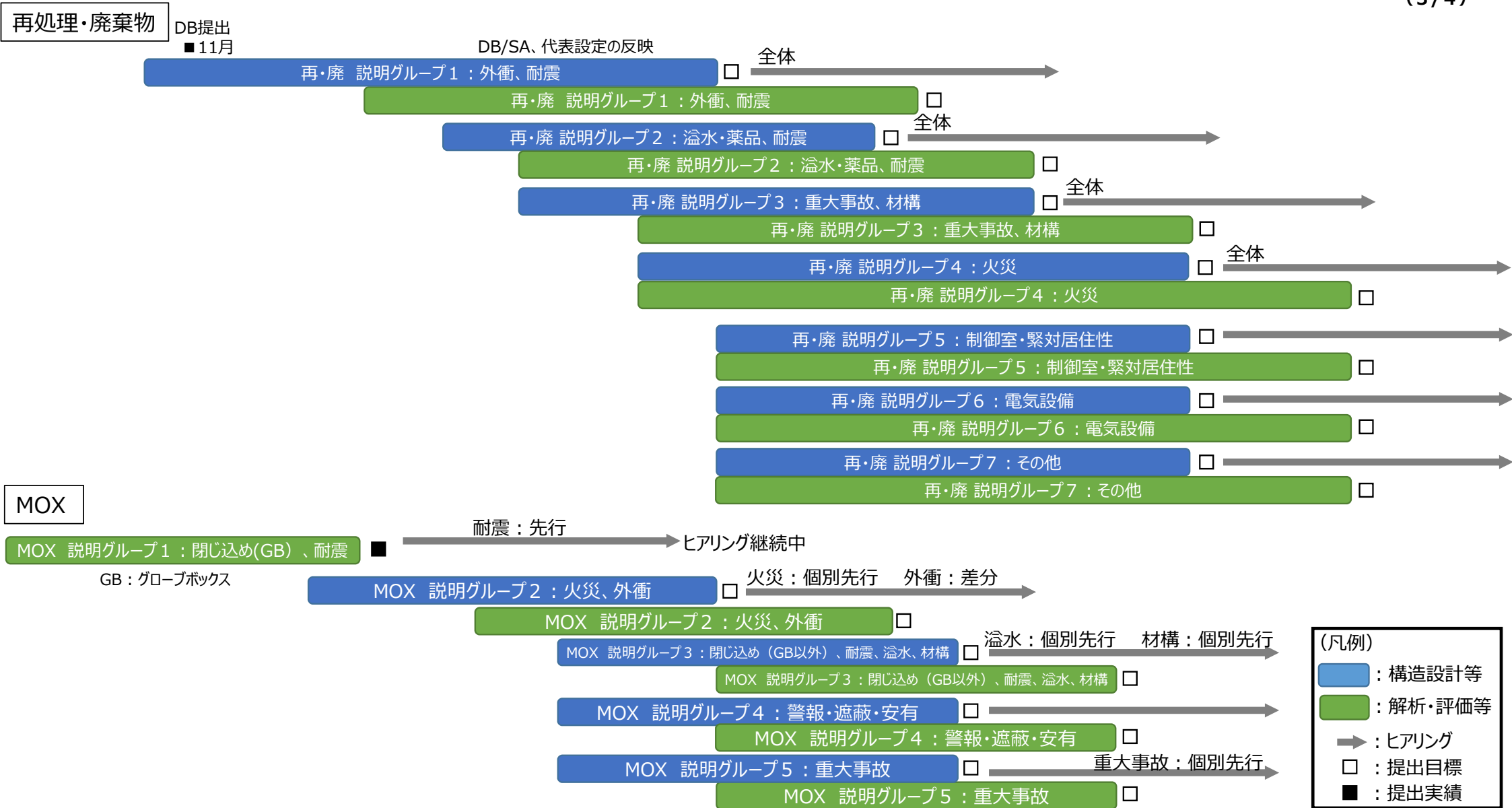
再処理・廃棄物 共通12 説明Gr1の進め方



□：資料提出， ▽：ヒアリング， ☆：審査会合

共通 1 2 の社内作成・審査の進め方

(3/4)



共通 1 2 再処理/廃棄物とMOXの連携項目について

○：基本的に説明すべき内容（共通事項含む）全体を説明 △：先行して固有事象を説明（関連する共通事項含む） *：基本的に再処理の全体説明で網羅し、差分のみ説明

(4/4)

連携項目	再処理の主な内容	MOXの主な内容	説明
外部衝撃	説明G r 1 ○全体 ・構造強度設計 ・降下火砕物の侵入防止、防護設計 ・耐火塗装の施工設計 ・離隔距離を確保する設計、分散配置等 ・直撃雷対策	*差分 説明G r 2 ・構造強度設計（換気設備の竜巻防護） ・降下火砕物の侵入防止、防護設計 ・避雷設計（排気筒）等	再処理にて先行し全体説明を実施。再処理に続き、MOXについては差分を説明する。
	説明G r 2 ○全体 ・溢水源、溢水量、防護区画、経路の設定 ・没水、被水、蒸気影響に対する設計 ・建屋内への流入防止設計等 ・スロッシングによる漏えい抑制	△個別・先行 説明G r 3 ・防護対象施設の機能喪失高さ、溢水における配慮が必要な高さ（グローブボックス）等	
耐震	説明G r 1、2 ○全体 ・建物、構築物（1.2Ss含む） ・機器、配管系（1.2Ss含む）等 ・屋外重要土木構造物（1.2Ss含む） ・B Cクラスの設計方針	△先行 説明G r 1、3 ・有限要素モデル：グローブボックス ・B Cクラスの設計方針等	耐震は、MOXのグローブボックスを先行して説明し、その後、再処理にて全体を含め説明を実施。
	説明G r 3 ○全体 ・健全性（環境条件、試験検査性、操作性、多様性、位置的分散他） ・関連する工程の停止等	△個別・先行 説明G r 5 ・健全性：換気設備の一部（DBと兼用）	
材構	説明G r 3 ○全体 ・耐食性等を考慮した材料 ・構造強度設計 ・設計条件における構造強度	△個別・先行 説明G r 3 ・構造強度設計	先行するMOXより個別説明を開始、その後、再処理にて全体を含め説明を実施
	説明G r 4 ○全体 ・火災感知、消火 ・火災及び爆発の発生防止、影響軽減 ・火災区域・区画	△個別・先行 説明G r 2 ・不燃材、難燃材の使用（グローブボックス） ・消火設備（グローブボックス） ・火災区域貫通部の延焼防止対策（防火シャッター） ・換気系のばい煙等の建屋内侵入防止	

代表設備の整理の考え方

資料2及び資料3の作成にあたり、構造設計等を説明する代表（設計説明分類，設備）を整理する際は、以下の事項を考慮する。

なお、本考え方については、共通12本文にも同様に展開する。

- ✓ 基本設計方針の要求事項に適合するための設計（説明パターン）を網羅するように代表を整理。（基本設計方針×設計（説明パターン）が母数となる。）
- ✓ 合理的に代表を整理するため、1つの設備で複数の基本設計方針の要求事項を説明できるように代表を整理。
- ✓ 関連性のある基本設計方針の要求事項に対する構造設計等の説明は、1つの系統（設備）で纏めて説明できるように代表を整理。
- ✓ 構造設計等の説明内容が同じ設計（耐える材料を使用など）であっても、事象が異なる場合（外部衝撃（火山、その他））はそれぞれの事象に対する構造設計等を説明するように代表を整理。
- ✓ 複数の設備が該当する設計（説明パターン）から1つの代表を整理する際は、以下の点をなるべく考慮。
 - 設計基準／重大事故の共通の要求事項に対しては両方の要求事項に該当する設備から代表を整理。
 - 新設／改造／既設設備は、資料3③の既認可から変更点の説明を考慮して改造設備又は設計上の制約がある設備から代表を整理。
- ✓ 基本設計方針で特定の設備に対する要求事項を記載している場合は当該設備を代表に整理。（例：主排気筒は異物の除去が可能な構造，冷却塔は冷却ファンを作動し上方に空気を流すことより降下火災物が堆積し難い構造など）
- ✓ 「解析，評価等」に係る説明（資料4）も見据えて、評価手法（定型式、FEM）や建物／構築物／洞道／機器・配管の分類などを考慮して代表を整理。
- ✓ 再処理施設及び廃物管理施設は、両施設合わせて構造設計等を説明するため、共通する設計内容はいずれかの施設の設備から代表を整理。また、廃棄物管理施設の特徴的な設備（収納管など）に対する構造設計等の説明は廃棄物管理施設から代表を整理。

上記の考え方に基づき再処理施設／廃棄物管理施設の説明グループ1（構造）の代表を整理した結果を別表に示す。また、上記の考え方のレ点2つ目に基づき整理した結果を別表（参考）に示す。

以上

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
第 5/32 条 地盤 第 6/33 条 地震 第 36 条 重大事故	建物・構築物(屋外重要土木構造物以外)(1.2Ss 含む)	建物・構築物	○建物 建物（分離建屋）	・評価を考慮して建物と構築物からそれぞれ代表を1つ整理（それぞれの評価プロセスは同じ） ・セル、安重壁等を有する建屋であり、かつ、DB/SA 兼用設備であることから分離建屋を代表に整理
			○構築物 主排気筒	・評価を考慮して建物と構築物からそれぞれ代表を1つ整理（それぞれの評価プロセスは同じ） ・S クラス（主排気筒のみ）、かつ、DB/SA 兼用設備である主排気筒を代表に整理
		竜巻防護対策設備	飛来物防護ネット 飛来物防護板（鋼材）	・飛来物防護ネット、飛来物防護板（鋼材）は、第 8 条（竜巻）の要求として地震時の相対変位により防護板同士が衝突しない設計（地震に関連する設計）などを説明する必要があるため、主排気筒以外に代表に整理
	地下水排水設備の設計(1.2Ss 含む)	建物・構築物	地下水排水設備	・本要求事項に該当する設備を代表に整理 ・地下水排水設備のうち、発電機装置

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
				は常設・可搬があるため、それぞれを代表に整理
	機器(定式化)(1.2Ss 含む)	屋外 機器・配管	冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）	<ul style="list-style-type: none"> ・評価を考慮して機器（屋外）から代表を1つ整理（評価プロセスは同じ） ・S クラス機器であり、かつ、他の要求事項の説明対象にもなる冷却塔を代表に整理
	機器(FEM)(1.2Ss 含む)	屋外 機器・配管	冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）	<ul style="list-style-type: none"> ・評価を考慮して機器（屋外）から代表を1つ整理（評価プロセスは同じ） ・S クラス機器であり、かつ、他の要求事項の説明対象にもなる冷却塔を代表に整理
	配管系(1.2Ss 含む)	屋外 機器・配管	配管（安全冷却水 A 冷却塔に接続する冷却水配管）	<ul style="list-style-type: none"> ・評価を考慮して配管（屋外）から代表を1つ整理 ・S クラス配管であり、かつ、他の要求事項の説明対象にもなる安全冷却水 A 冷却塔に接続する冷却水配管を代表に整理
	B,Cクラスの設計方針	竜巻防護対策設備	飛来物防護ネット	<ul style="list-style-type: none"> ・他の要求事項の説明対象でもあり、Cクラスの波及対象である飛来物防護ネットを代表に整理
	可搬型設備(1.2Ss 含む)	屋外 機器・配管	○固縛	<ul style="list-style-type: none"> ・本要求事項に該当する可搬型 SA 設

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
			大型移送ポンプ車（余長あり） ホイールローダ（余長なし） ○固定 可搬型空気圧縮機	備から代表を整理 ・設計の対処の方法（固縛、固定）ごとに代表を整理 ・固縛は、可搬型 SA 設備の転倒を防止するため、余長なしで固縛する設備と余長ありで固縛する設備があるため、それぞれ代表を整理 ・固縛、固定の構造に関連する保管エリアの基礎の説明も含む。 ・なお、屋外可搬型 SA 設備の全体の配置状況等も合わせて説明
第 7/34 条 津波 第 36 条 重大事故	津波の影響を受けない位置への設置及び保管	建物・構築物	建物（分離建屋）	・建物、屋外機器・配管ともに共通の説明内容となることから1つで代表を整理 ・他の要求事項の説明対象でもある建物を代表に整理（新設・既設ともに説明内容は同じ）
	津波による影響を受けるおそれのある位置への据付時の考慮(可搬型 SA 設備)	屋外 機器・配管	大型移送ポンプ車	・本要求事項に該当する設備を代表に整理 ・なお、沼周辺に敷設する SA 設備の系統構成も合わせて説明
第 8/36 条 外部衝撃/ 外部衝撃/	外部衝撃に対する防護設計(屋内配置)	屋内 機器・配管	○分離建屋内の設備 ○開口等に対して建具（フー	・屋内 機器・配管で共通の説明内容となることから1つで代表を整理

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
重大事故			ド等）で守られる設備 分離建屋 分離建屋内の設備 ○開口等に対して竜巻防護対策設備で守られる設備 制御建屋 制御建屋内の設備	・開口等に対して建具（フード等）で守られる設備の説明は、建屋の機械的強度を有する説明とも関連するため、分離建屋内の設備を代表に整理 ・開口部等に対して竜巻防護対策設備で守られる対象は、分離建屋に対象がないため、制御建屋内の設備を代表に整理
	構造強度を確保する設計(建物・構築物)：竜巻	建物・構築物	○建物 建物（分離建屋）	・評価を考慮して建物と構築物からそれぞれ代表を1つ整理（それぞれの評価プロセスは同じ） ・DB/SA 兼用設備である建屋を代表に整理
			○構築物 北換気筒	・評価を考慮して建物と構築物からそれぞれ代表を1つ整理（それぞれの評価プロセスは同じ） ・波及影響の配置設計と合わせて構造設計を説明できる設備として北換気筒を代表に整理
構造強度を確保する設計(建物・構築物)：火山（降下火災物の静的負荷）	建物・構築物	○建物 建物（分離建屋）	・評価を考慮して建物と構築物からそれぞれ代表を1つ整理（それぞれの評価プロセスは同じ）	

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
				・DB/SA 兼用設備である建屋を代表に整理
			○構築物 北換気筒	・評価を考慮して建物と構築物からそれぞれ代表を1つ整理（それぞれの評価プロセスは同じ） ・波及影響の配置設計と合わせて構造設計を説明できる設備として北換気筒を代表に整理
	構造強度を確保する設計(建物・構築物)：外部火災	建物・構築物	建物（精製建屋）	・外部火災は評価代表を構造設計等の代表に整理 ・精製建屋及びウランプラウトニウム混合脱硝建屋の爆風圧を考慮した設計は共通するため、1つを代表に整理
	構造強度を確保する設計(外気と繋がっている屋内機器)	屋内 機器・配管	○換気設備 建屋換気設備（管理区域）	・評価を考慮して機器・配管（定型式）から代表を整理 ・1つの系統を代表に整理し、ダクト、排風機等を代表に整理（DB/SA 兼用設備）
○収納管（E施設）			・評価を考慮して機器（定型式）から代表を整理 ・収納管は換気設備、塔槽類廃ガス処理設備にもない設備であり、廃棄物管	

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
				理施設の特徴的な設備であることも踏まえて代表に整理
	構造強度を確保する設計(機器)：竜巻	屋外 機器・配管	冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔） 配管（安全冷却水 A 冷却塔に接続する冷却水配管）	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の評価（定型式、FEM）を考慮して両方の要素を有する設備を代表に整理 ・冷却塔は機器、配管の構造設計の要素があるので代表に整理（新設・既設ともに説明内容は同じ） ・冷却塔は他の要求事項の説明でも代表になることも含む ・設計飛来物の衝突を考慮する必要がある設備（安全冷却水 A 冷却塔に接続する冷却水配管）を上記以外に代表として整理
		屋外 機器・配管 (屋内 機器・配管)	非常用ディーゼル発電機（本体用）のベント管	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の評価（定型式）は上記に包絡 ・波及のシステム設計の対象から代表を整理する必要があるため、ベント管を代表に整理
	構造強度を確保する設計(機器)：火山（降下火災物の静的負荷）	屋外 機器・配管	冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）	・機器の評価（定型式、FEM）を考慮して両方の要素を有する設備を代表に整理

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
				・冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）は他の要求事項の説明でも代表になることも含む
	予備品による機能維持設計	屋外 機器・配管 (屋内 機器・配管)	建屋間伝送用無線装置（屋外アンテナ）	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
	建屋内への移動等による機能維持設計	屋外 機器・配管	○建屋内への移動 可搬型空気圧縮機	・本要求事項に該当する設備を代表に整理（説明内容は共通） ・他の要求事項も合わせて説明するため可搬型空気圧縮機を代表に整理
		屋外 機器・配管	○散水による影響緩和 可搬型中型移送ポンプ 可搬型ホース	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
	固縛又は固定により構造強度を確保する設計(屋外可搬 SA 設備等)(悪影響防止の観点含む)	屋外 機器・配管	○固縛 大型移送ポンプ車（余長あり） ホイールローダ（余長なし）	・本要求事項に該当する可搬型 SA 設備から代表を整理 ・設計の対処の方法（固縛、固定）ごとに代表を整理
			○固定 可搬型空気圧縮機	・固縛は、可搬型 SA 設備の転倒を防止（他の要求事項）するため、余長なしで固縛する設備と余長ありで固縛する設備があるため、それぞれ代表を整理
	竜巻防護対策設備の設計	竜巻防護対策設備	飛来物防護板（鋼材）	・対策設備の種類ごとに代表設備を整理（それぞれ1つ）
			飛来物防護板（RC）	

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
			飛来物防護ネット	・代表で説明できない設計内容は他の設備で説明
	侵入防止設計	建物・構築物	○防雪フード 建物（分離建屋）	・本要求事項に該当する設備（防雪フード）を代表に整理（建物共通の説明内容） ・他の要求事項（竜巻の開口部等に対する説明内容）と合わせて代表を整理
屋外 機器・配管			○冷却空気吹き上げ等 冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）	・本要求事項（吹き上げ、全閉構造）に該当する設備（冷却塔）を代表に整理 ・他の要求事項の説明対象にもなる冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）を代表に整理
屋内 機器・配管		○フィルタ設置等 建屋換気設備 （非管理区域、管理区域）	フィルタを設置する設計は共通するが、他の要求事項（積雪に対する防護設計）の説明も考慮して建屋換気設備（非管理区域、管理区域）を代表に整理	
		○追加フィルタ設置のスペース確保 非常用ディーゼル発電機	・本要求事項に該当する設備を代表に整理 ・他の要求事項の説明対象にもなる非	

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
			(本体用)	常用ディーゼル発電機（本体用）を代表に整理
			○絶縁低下防止 電気設備	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
	閉塞防止設計	建物・構築物	○建屋外気取入口/排気口の配置 建物（分離建屋）	・建物の共通の設計であるため、他の要求事項の説明対象でもある建物（分離建屋）を代表に整理
			○主排気筒から除灰可能な設計等 主排気筒	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
		屋内 機器・配管	○ばい煙が留まらない設計 収納管及び通風管（E 施設）	・ばい煙が粒径以上の隙間を設ける設計は共通のため1つを代表に整理 ・他の要求事項の説明も考慮して収納管及び通風管を代表に整理 ・E 施設の特徴的な設備であることからE 施設を代表に整理
	○貯蔵ピットから除灰可能な設計 貯蔵ピット（E 施設）		・本要求事項に該当する設備を代表 ・E 施設の特徴的な設備であることからE 施設を代表に整理	
	摩耗防止設計	屋外 機器・配管	○摺動部に摩耗し難い金属の使用 冷却搭（安全冷却水 A 冷	・本要求事項に該当する設備を代表に整理（摩耗し難い金属であることの説明（硬い材料を使用）は共通）

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
			却塔)	・他の要求事項の説明対象にもなる冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）を代表に整理
	腐食防止設計	建物・構築物	○外壁塗装及び屋上防水 建物（分離建屋）	・建物の共通の設計であるため、他の要求事項の説明対象でもある建物（分離建屋）を代表に整理
		屋外 機器・配管	○塗装若しくは腐食し難い金属の使用 冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）	・屋外 機器・配管の設計は共通のため1つを代表に整理 ・他の要求事項の説明対象にもなる冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）を代表に整理
		屋内 機器・配管	○防食処理（アルミニウム溶射） 収納管及び通風管（E 施設）	・本要求事項に該当する設備を代表 ・E 施設の特徴的な設備であることからE 施設を代表に整理
	間接的影響に対する設計	屋内 機器・配管	非常用ディーゼル発電機（本体用）	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
	離隔距離を確保する設計(建物・構築物)	建物・構築物	○森林火災 第1保管庫・貯蔵所	・外部火災は評価代表を構造設計等の代表に整理
			○石油備蓄基地火災 第1 ガラス固化体貯蔵建屋	・外部火災は評価代表を構造設計等の代表に整理

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
			○石油備蓄基地火災と森林火災の重畳 使用済燃料輸送容器管理 建屋（使用済燃料収納使用済燃料輸送容器保管庫）	・外部火災は評価代表を構造設計等の代表に整理
			○敷地内の危険物貯蔵施設等の火災及び爆発 使用済燃料受入れ・貯蔵 建屋	・外部火災は評価代表を構造設計等の代表に整理
	離隔距離を確保する設計(機器)	屋外 機器・配管	○森林火災 冷却塔（安全冷却水系冷却塔 A）	・外部火災は評価代表を構造設計等の代表に整理
			○石油備蓄基地火災 冷却塔（安全冷却水系冷却塔 B）	・外部火災は評価代表を構造設計等の代表に整理
			○石油備蓄基地火災と森林火災の重畳 冷却塔（安全冷却水系冷却塔 B）	・外部火災は評価代表を構造設計等の代表に整理

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
			○敷地内の危険物貯蔵施設等の火災及び爆発 冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）	・外部火災は評価代表を構造設計等の代表に整理
		屋内 機器・配管	○建屋の外気取入口から空気を取り込む設備 非常用ディーゼル発電機（本体用）	・外部火災は評価代表を構造設計等の代表に整理
	構造強度を確保する設計(危険物貯蔵施設等)	屋外 機器・配管	○着火源の排除等 危険物貯蔵施設（水素, プロパン）	・危険物貯蔵施設（水素, プロパン）ごとに設計の対処方法が異なるためそれぞれを代表に整理
			○火災爆発源からの離隔距離の確保 再処理施設の危険物貯蔵施設等	・外部火災は評価代表を構造設計等の代表に整理
	耐火塗装を施工する設計	屋外 機器・配管	冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔） 飛来物防護ネット	・本要求事項に該当する設備を代表に整理（対象設備共通の設計） ・他の要求事項の説明も考慮して冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）及び飛来物防護ネットを代表に整理
遮熱板を設置する設計	屋外 機器・配管	冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）	・本要求事項に該当する設備を代表に整理	

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
				・他の要求事項の説明対象にもなる冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）を代表に整理
	構造強度を確保する設計(二次輻射の影響を受ける屋内設備)	屋内 機器・配管	非常用ディーゼル発電機（本体用）	・外部火災は評価代表を代表設備に整理
	試薬貯槽地下化	屋外 機器・配管	硝酸ヒドラジン受入れ貯槽、TBP 受入れ貯槽及び n-ドデカン受入れ貯槽	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
	航空機落下に対する防護設計(分散配置)	屋外 機器・配管	冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
	落雷に対する防護設計(直撃雷対策)	建物・構築物	○避雷設備設置（主排気筒） 主排気筒(接地の説明では竜巻防護対策設備も合わせて説明)	・JIS に基づく避雷設備の設置は共通のため、雷撃電流 270kA を捕捉する主排気筒を代表に整理（電撃電流 150～270kA を捕捉する換気筒の避雷設備の説明内容は主排気筒と同じ） ・飛来物防護板に分流する設計上の考慮も合わせて説明 ・主排気筒に設置する制震オイルダンパーの安全機能に影響を与えないこと的设计内容も合わせて説明
			○主排気筒の保護範囲内に	・主排気筒及び他の要求事項の説明

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
			配置 主排気筒及び建物（分離建屋）	対象でもある分離建屋を代表に周辺設備の配置関係（保護角と建屋の関係）を整理
			○避雷設備設置（収納する建屋） 建物（新 JIS:緊急時対策建屋、旧 JIS:精製建屋）	・JIS に基づく避雷設備の設置は共通だが、新 JIS,旧 JIS 設計の建屋があるため、それぞれ 1 つを代表に整理
		竜巻防護対策設備	○避雷設備設置（落雷防護対象施設を覆う金属製の構築物） 飛来物防護ネット	・飛来物防護ネットの共通の設計のため 1 つを代表に整理
	落雷に対する防護設計(間接雷対策)	屋内 機器・配管	○避雷設備の接地極の接続 避雷設備（建屋間）	・接地極の接続は共通の設計であるため、2 か所接続の概念図で説明
			○保安器の設置、シールドケーブルの使用、アイソレータ設置 計装設備	・計装設備で左記の説明パターンを網羅できる設備を代表に整理
			○シールドケーブルを使用し両端接地 計装設備	
			○光伝送ケーブル 主排気筒ガスモニタ	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
			○雷インパルス絶縁耐力を有	・電気設備で左記の説明パターンを代

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由	
			する交流遮断器又は変圧器の設置 電気設備	表に整理できる設備を代表に整理	
			○絶縁増幅器又は継電器の設置 計装設備	・計装設備で左記の説明パターンを網羅できる設備を代表に整理	
			○ケーブルトレイの物理的分離 計装設備	・共通の設計であるため、概念図で説明	
	凍結に対する防護設計	建物・構築物	屋外 機器・配管	○鉄筋コンクリート造 建物（分離建屋）	・建物の共通の設計であるため、他の要求事項の説明対象でもある建物（分離建屋）を代表に整理
				○寒冷耐用性を有する材料を使用 冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）	・屋外の機器・配管、構築物の共通の設計であるため1つで代表を整理 ・他の要求事項の説明も考慮して冷却塔を代表に整理
				○保温材 安全冷却水系(F用)	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
				○不凍液 安全冷却水系(本体用)	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
				○給気加熱 建屋換気設備 (非管理区域, 管理区域)	・給気系に給気ユニット又は加熱器を設置する設計は共通するが、他の要求事項（積雪に対する防護設計）の説明

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
				も考慮して建屋換気設備（非管理区域、管理区域）を代表に整理
	高温に対する防護設計	建物・構築物	○鉄筋コンクリート造 建物（分離建屋）	・建物の共通の設計であるため、他の要求事項の説明対象でもある建物（分離建屋）を代表に整理
		屋外 機器・配管	○耐熱性を有する材料を使用 冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）	・屋外の機器・配管、構築物の共通の設計であるため1つで代表を整理 ・他の要求事項の説明も考慮して冷却塔を代表に整理
		屋外 機器・配管	○冷却機能維持 冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）	・29℃を考慮した設計は共通であり、既認可から変更がある冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）を代表に整理 ・他の設備は既認可からシステム設計、構造設計は変更がないため代表以外に整理
	降水に対する防護設計(防水塗装等)	建物・構築物	○外壁塗装及び屋上防水 建物（分離建屋）	・建物の共通の設計であるため、他の要求事項の説明対象でもある建物（分離建屋）を代表に整理
		建物・構築物	○雨が侵入し難く、侵入したとしても排水できる構造 主排気筒	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
		屋外 機器・配管	○塗装若しくは腐食し難い金	・屋外の機器・配管、構築物の共通の

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
			属の使用 冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）	設計であるため1つで代表を整理 ・他の要求事項の説明も考慮して冷却塔を代表に整理
	積雪に対する防護設計	建物・構築物	○雪が侵入し難く、侵入したとしても排出できる構造 主排気筒	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
		屋内 機器・配管	○給気加熱等 建屋換気設備 (非管理区域、管理区域) 非常用ディーゼル発電機 (本体用)の給気系	・設計の対処方法（フィルタ上流に給気ユニット等を設置する設計，建屋内の空気をフィルタ上流に再循環する設計，給気量を少なくすることで雪を取り込み難い設計）ごとに代表を整理 フィルタ上流に給気ユニット等を設置する設計：建屋換気設備（管理区域） 建屋内の空気をフィルタ上流に再循環する設計：建屋換気設備（非管理区域） 給気量を少なくすることで雪を取り込み難い設計：非常用ディーゼル発電機（本体用）の給気系
	生物学的事象に対する防護設計	建物・構築物	○バードスクリーン設置、貫通	・建物の共通の設計であるため、他の要

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
			部止水処理 建物（分離建屋）	求事項の説明対象でもある建物（分離建屋）を代表に整理
		屋外 機器・配管	○保護構造 冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
			○メッシュ構造 受電開閉設備	・左記の説明パターン該当する電気設備を代表に整理
			○シール構造 受電開閉設備	・左記の説明パターン該当する電気設備を代表に整理
			○取水口へのスクリーンを設置 給水処理設備の取水口	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
		屋内 機器・配管	○フィルタ設置 建屋換気設備 （非管理区域、管理区域）	・フィルタを設置する設計は共通するが、他の要求事項（積雪に対する防護設計）の説明も考慮して建屋換気設備（非管理区域、管理区域）を代表に整理
			○ステンレスワイヤーネット設置 非常用ディーゼル発電機 （本体用）の給気系	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
	開口部の目視確認等による機能維持設計	屋外 機器・配管	大型移送ポンプ車	・可搬 SA 設備の開口部を有する設備の共通の設計のため1つで代表を整理 ・他の要求事項の説明も考慮して大型

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
				移送ポンプ車を代表に整理
	塩害に対する防護設計	建物・構築物	○外壁塗装及び屋上防水 建物（分離建屋）	・建物の共通の設計であるため、他の要求事項の説明対象でもある建物（分離建屋）を代表に整理
		屋外 機器・配管	○塗装若しくは腐食し難い金属の使用 冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔）	・屋外の機器・配管、構築物の共通の設計であるため1つで代表を整理 ・他の要求事項の説明も考慮して冷却塔を代表に整理
			○碍子洗浄 受電開閉設備	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
		屋内 機器・配管	○フィルタ設置 建屋換気設備 （非管理区域、管理区域）	・フィルタを設置する設計は共通するが、他の要求事項（積雪に対する防護設計）の説明も考慮して建屋換気設備（非管理区域、管理区域）を代表に整理
			○防食処理（アルミニウム溶射） 収納管及び通風管（E 施設）	・本要求事項に該当する設備を代表に整理 ・E 施設の特徴的な設備であることからE 施設を代表に整理
	電磁的障害に対する防護設計	屋内 機器・配管	計装設備	・本要求事項に該当する設備の共通の設計であるため該当する計装設備を代表に整理

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
第 10 条 閉じ込め	設計基準事故時の線量低減(フィルタの追加設置)	屋内 機器・配管	固化セル圧力放出前置フィルタユニット	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
	崩壊熱除去(移設する冷却塔)	屋外 機器・配管	冷却塔（安全冷却水 A 冷却塔)	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
	崩壊熱除去(飛来物防護ネットによる影響)	竜巻防護対策設備	飛来物防護ネット	・本要求事項に該当する設備を代表に整理 ・説明内容の多い G10 ネットを代表に整理
第 14 条 避難通路	避難用照明の設計	屋内 機器・配管	避難用照明（誘導灯及び非常灯)	・避難用照明の共通の設計であるため 1 つを代表に整理
第 19 条 1 項 貯蔵	崩壊熱除去(飛来物防護ネットによる影響)	竜巻防護対策設備	飛来物防護ネット	・10 条と同じ説明内容になることから代表以外に整理
第 28 条 換気	固化セル圧力放出系前置フィルタユニットのフィルタ 2 段化	屋内 機器・配管	固化セル圧力放出前置フィルタユニット	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
第 36 条 重大事故	多様性・位置的分散(外的ハザード※) ※地盤,地震,津波,外部衝撃	屋外 機器・配管	可搬型空気圧縮機	・可搬設備の共通の設計のため 1 つを代表に整理 ・他の要求事項の説明も考慮して可搬型空気圧縮機を代表に整理
		屋外 機器・配管	貯水槽	・DB 設備との位置的分散は共通の設計のため 1 つを代表に整理
		屋内 機器・配管	接続口	・本要求事項に該当する設備を代表に整理（共通の設計であるため 1 建屋を

再処理施設／廃棄物管理施設の代表整理の結果一覧（説明グループ1（構造））

条文	説明すべき項目	設計説明分類	代表設備	理由
				代表)
		屋内 機器・配管	代替中央制御室送風機	<ul style="list-style-type: none"> ・可搬設備の共通の設計のため1つを代表に整理 ・他の要求事項（竜巻の開口部等の説明）の説明対象も考慮して代表を整理
	屋外，屋内アクセスルートを確保する設計(外的ハザード※) ※地盤,地震,津波,外部衝撃	建物・構築物	屋内アクセスルート（分離建屋）	・建物の共通の設計であるため、他の要求事項の説明対象でもある建物（分離建屋）を代表に整理
		建物・構築物	屋外アクセスルート	・本要求事項に該当する設備を代表に整理
		屋外 機器・配管	ホイールローダ	・本要求事項に該当する設備を代表に整理

設工認等週間スケジュール

参考

■：耐震 ■：共通・DB・S A ■：濃縮 ■：その他の面談/ヒアリング ■：審査会合関係

		2月				
月日	12	13	14	15	16	
	月	火	水	木	金	
AM	建国記念の日 振替休日				10:30~ (再/廣/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方(全体の進め方、代表選定の考え方等) ・共通12(再処理/廃棄物 説明グループ1(構造) DB/SAに係る設計項目整理(36条、8条(電巻)))	
PM			13:30~ (再/廣/M) 共通12に関するヒアリング 【対面希望】 ・グループボックスの耐震設計及び耐震評価(解析モデル)に関する説明方針 ・共通12(MOX 説明グループ1(評価)のうち(評価パターン(3)))資料2、3、4(GB関係)		13:30~ (再/廣/M) 審査会合資料ヒアリング 【対面希望】 ・設工認申請の対応状況について(審査会合資料(地盤))	
資料提出予定				・今後の進め方(全体の進め方、代表選定の考え方等) ・共通12(再処理/廃棄物 説明グループ1(構造) DB/SAに係る設計項目整理(36条、8条(電巻))) ・共通12本文、参考資料 ・共通12(MOX 説明グループ1(評価)のうち(評価パターン(1)(2)))資料2、3(搬送)、4(再処理・廃棄物管理施設の評価項目の抽出結果含む) ・上記に係る個別補足説明資料(閉込02、閉込03、搬送01、搬送02、搬送03、換気01、廃棄01、溢水43)	・設工認申請の対応状況について(審査会合資料(地盤))【AM】	
		2月				
月日	19	20	21	22	23	
	月	火	水	木	金	
AM		10:00~ (再/廣/M) 共通12に関するヒアリング ・共通12(再処理/廃棄物 説明グループ1(構造)資料3適正化状況(コメント反映))		10:00~ (再/廣/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方(全体の進め方、代表選定の考え方等) 上記ヒアリングに続けて (再/廣/M) 審査会合資料ヒアリング 【対面希望】 ・設工認申請の対応状況について(審査会合資料(地盤))	天皇誕生日	
PM	13:30~ (再/廣/M) 審査会合資料ヒアリング 【対面希望】 ・設工認申請の対応状況について(審査会合資料(共通12))	13:30~ (再/廣/M) 審査会合資料ヒアリング 【対面希望】 ・設工認申請の対応状況について(審査会合資料(GB耐震説明骨子))	13:30~ (再/廣/M) 共通12に関するヒアリング ・共通12本文、参考資料 ・共通12(MOX 説明グループ1(評価)のうち(評価パターン(1)(2)))資料2、3(搬送)、4(再処理・廃棄物管理施設の評価項目の抽出結果含む) ・上記に係る個別補足説明資料(閉込02、閉込03、搬送01、搬送02、搬送03、換気01、廃棄01、溢水43)	13:30~ (再/廣/M) 審査会合資料ヒアリング ・設工認申請の対応状況について(審査会合資料(共通12)) 上記ヒアリングに続けて (再/廣/M) 今後の進め方に関するヒアリング ・共通12(再処理/廃棄物 説明グループ1(構造) DB/SAに係る設計項目整理(36条、8条(電巻)))		
資料提出予定	・設工認申請の対応状況について(審査会合資料(共通12))【朝一】 ・共通12(再処理/廃棄物 説明グループ1(構造)資料3適正化状況(コメント反映))【AM】 ・設工認申請の対応状況について(審査会合資料(GB耐震説明骨子))		・設工認申請の対応状況について(審査会合資料) ・今後の進め方(全体の進め方、代表選定の考え方等) ・共通12(再処理/廃棄物 説明グループ1(構造) DB/SAに係る設計項目整理(36条、8条(電巻)))	・耐震建物08		
		2月				
月日	26	27	28	29	1	
	月	火	水	木	金	
AM		10:00~ (再/廣/M) 審査会合資料ヒアリング 【対面希望】 ・設工認申請の対応状況について(審査会合資料)		審査会合希望	10:00~ (再/廣/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方(全体の進め方、代表選定の考え方等) ・共通12(再処理/廃棄物 説明グループ1(構造) DB/SAに係る設計項目整理(36条、8条(電巻)))	
PM		13:30~ (再/廣/M) 共通12に関するヒアリング ・共通12(再処理/廃棄物 説明グループ1(構造)資料3適正化状況(コメント反映))			13:30~ 3Sに関する面談 ・3Sインターフェイスに係る検討の進め方	
資料提出予定	・設工認申請の対応状況について(審査会合資料) ・共通12(再処理/廃棄物 説明グループ1(構造)資料3適正化状況(コメント反映))		・設工認申請の対応状況について(審査会合資料) ・共通12本文、参考資料 ・(別添)共通12(MOX 説明グループ1(評価(評価パターン(1)(2))))資料2、3(搬送)、4 ・共通12(MOX 説明グループ1(評価)のうち(評価パターン(3)))資料2、3、4(GB関係) ・3Sインターフェイスに係る検討の進め方	・今後の進め方(全体の進め方、代表選定の考え方等) ・共通12(再処理/廃棄物 説明グループ1(構造) DB/SAに係る設計項目整理(36条、8条(電巻)))		

月日	3月				
	4月	5月	6月	7月	8月
	月	火	水	木	金
AM					10:00～ (再/廃/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方（全体の進め方等）
PM				13:30～ (再/廃/M) 共通12に関するヒアリング ・共通12本文、参考資料 ・共通12 (MOX 説明グループ1 (評価)のうち (評価パターン (3)) 資料2、3、4 (GB関係)	
資料提出予定	・共通12本文、参考資料 ・共通12 (MOX 説明グループ1 (評価)のうち (評価パターン (3)) 資料2、3、4 (GB関係)			・今後の進め方（全体の進め方等） ・溢水及び化学薬品漏えいの防護に係る構造設計等の設計項目の整理 ・DB/SAの設計項目の整理方針 (36条, 12条 /13条 (溢水/化学薬品))	・設計プロセスの各段階における事業部門の差異および差異に対する考え方の整理状況、事業変更許可申請書記載事項の整理、保安規定変更認可申請に係る運用の整理等
月日	3月				
	11月	12月	13月	14月	15月
	月	火	水	木	金
AM			10:00～ 設計プロセスの運用改善状況に関する面談 ・設計プロセスの各段階における事業部門の差異および差異に対する考え方の整理状況、事業変更許可申請書記載事項の整理、保安規定変更認可申請に係る運用の整理等	10:00～ (再/廃/M) 審査会合資料ヒアリング 【対面希望】 ・設工認申請の対応状況について (審査会合資料)	10:00～ (再/廃/M) 今後の進め方に関するヒアリング 【対面希望】 ・今後の進め方（全体の進め方等）
PM				13:30～ (再/廃/M) 共通12に関するヒアリング ・溢水及び化学薬品漏えいの防護に係る構造設計等の設計項目の整理 ・DB/SAの設計項目の整理方針 (36条, 12条 /13条 (溢水/化学薬品))	13:30～ (再/廃/M) 共通12に関するヒアリング ・共通12本文、参考資料 ・共通12 (MOX 説明グループ1 (評価)のうち (評価パターン (3)) 資料2、3、4 (GB関係)
資料提出予定		・共通12本文、参考資料 ・共通12 (MOX 説明グループ1 (評価)のうち (評価パターン (3)) 資料2、3、4 (GB関係)	・設工認申請の対応状況について (審査会合資料) (AM) ・共通12 (再処理/廃棄物 説明グループ1 (構造)) 資料1～3 ・上記に関連する個別補足説明資料	・今後の進め方（全体の進め方等）	
月日	3月				
	18月	19月	20月	21月	22月
	月	火	水	木	金
AM		10:00～ (再/廃/M) 審査会合資料ヒアリング 【対面希望】 ・設工認申請の対応状況について (審査会合資料)	春分の日		
PM		13:30～ (再/廃/M) 共通12に関するヒアリング ・共通12 (再処理/廃棄物 説明グループ1 (構造)) 資料1～3 ・上記に関連する個別補足説明資料			審査会合希望
資料提出予定		・設工認申請の対応状況について (審査会合資料)		・設工認申請の対応状況について (審査会合資料) ・共通12本文、参考資料 ・(別添) 共通12 (MOX 説明グループ1 (評価 (評価パターン (3)) 資料2、3、4 (GB関係)	